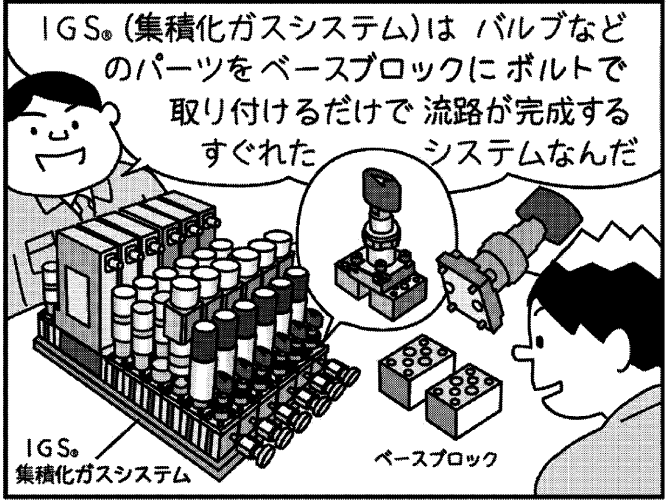


コントロールバルブ



東工・バレックス株式会社
<http://www.toko-valex.co.jp/>

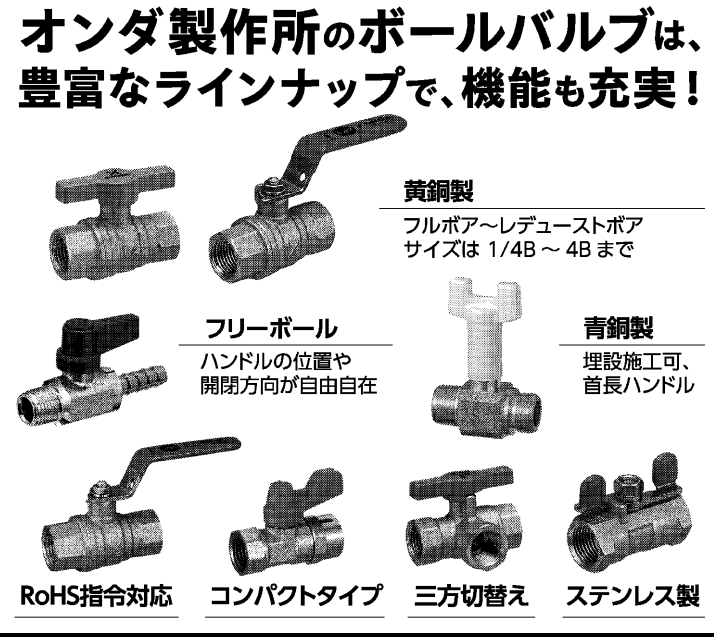


IGS。(集積化ガスシステム)はバルブなどのパーツをベースブロックにボルトで取り付けるだけで流路が完成するすぐれたシステムなんだ

IGS。は振動・衝撃に強い Wシールですか?
 『Wシール』構造も特長



一般社団法人日本バルブ工業会
創立70周年おめでとうございます
 バルブメーカーが創る Made in TSUYAMA の国内ステンレス鋳物
オーエヌ工業株式会社
 〒708-0011 岡山県津山市上田邑3235-2 TEL (0868) 28-0171
 onk@onk-net.co.jp https://www.onk-net.co.jp/



オンダ製作所のボールバルブは、豊富なラインナップで、機能も充実!

黄銅製
フルボア~レデューストポア
サイズは 1/4B ~ 4B まで

フリーボール
ハンドルの位置や開閉方向が自由自在

青銅製
埋設施工可、首長ハンドル

RoHS指令対応 コンパクトタイプ 三方切替え ステンレス製

ONDA 株式会社 オンダ製作所
 〒501-3263 岐阜県関市広見851番地03 TEL (0575)24-8585 FAX (0575)24-8181
<https://www.onda.co.jp/>

SANE I

開発本部 研究部 部長

牧 照明



このたびは創立70周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。
 SANE Iも今年度、工業会と同じく創業70周年を迎えました。社会貢献を実現しながら、70周年歩み続けられたことをうれしく思います。
 当社は創業以来、「人類ある限り水は必要である」という理念の下、流体制御という生活の礎を守る技術を磨いてきました。自然の尊い恵みである水を通じて、キッチンでの憩いやバスでのリラクゼーションといった生活シーンを喜びの場にできる商品を提案しています。十人十色のライフスタイルに寄り添える商品を研究開発することが魅力です。
 今後も工業会とともに80年、90年、100年と発展継続してまいります。

東工・バレックス

代表取締役社長

横山 達也



日本バルブ工業会が創立70周年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。
 バルブの種類は多岐に渡り、ライフライン、各種プラント、造船や航空関係、さらには宇宙開発へと人々の生活や経済発展には欠かせない存在となっています。このようなバルブ産業に携わる企業が集い、業界の継続的発展の一端を担うのが日本バルブ工業会です。会員企業は他企業のさまざまな製品を学ぶ機会となり、異なる分野についても知識を得られます。『バルブ』が共通とはいえ、まるで異業種交流のようなところが魅力です。
 今後は若手にも積極的に参画してもらい、工業会活動がより活発になるようベクトルを合わせて進むことを望んでいます。

日本バルブ工業会 創立70周年

ごあいさつ 日本バルブ工業会 代表理事・会長 **西岡 利明**

日本バルブ工業会は3月21日をもって、創立70年という大きな節目を迎えました。これもひとえに先人、先輩諸氏の御礼申上げます。努力のたまものと御礼申し上げます。

工業会が産声を上げた1954年は、戦後動乱期を終え、高度経済成長期という日本が非常に活気にあふれている時代でした。この70年間、オイルショックやバルブの崩壊、最近では新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)など、大きな節目を迎え、より強固な工業会として発展してきました。

2021年度から23年3月までの中期活動計画「V70 All for Society」は、おかげさまで当初の計画を達成することができました。4月からは80周年までの中長期計画「V80」となり、24年から26年までの「From now 70th」がスタートしました。「サステナブルなバルブ業界へ」「次世代人材育成と働きやすい職場へ」「情報・事業の活性化による認知度・満足度向上」が事業の活性化による認知度・満足度向上に貢献しています。

次世代へ「From now 70th」始動

2033年(80周年)までの中長期計画フレーム

「過去から未来へ」(2004(50th)~) → 「未来から未来へ」(2024~) → 「未来から未来へ」(2027~)

2024~ 2026 2027~

STAGE I From now 70th STAGE II

~会員の期待以上に満足度の高い工業会を目指して~

サステナブルなバルブ業界へ 次世代人材育成と働きやすい職場へ 情報・事業の活性化による認知度・満足度向上 業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上

若手社員、女性の参加を促し、期待、ニーズの高い自律的な事業を企画、推進

変革をもたらし、参加率、満足度が向上し、業界が持続的に発展することを期待

copyrights by JVMA

足度の高い工業会を目指して活動していきま。80年、100年、あるいは未来永劫、日本バルブ工業会がますます発展するために、皆さまの協力をお願いいたします。最後になりますが、皆様のご健康と多幸を祈念し、70周年のあいさつとさせていただきます。本誌にありがとうございます。

設備・人・社会の安全を守る

バルブはインフラ設備や産業プラントなどで流体制御の要として高い品質、安全性、信頼性が求められる重要機器。あらゆる産業の、縁の下の力持ちとして、施設・設備、人と社会の安全を守り、生産やサービスの品質を守っている。バルブ産業の高度化・発展を後押ししてきた日本バルブ工業会(西岡利明会長)とSANE I社長が3月21日に創立70周年を迎えた。これを記念して6日、東京・大手町の大手町サンケイプラザで創立70周年記念祝賀会を開催する。

2年連続最高更新
 日本バルブ工業会は1954年3月21日にバルブ製造業者100社が団結し、「日本弁工業会」として旗揚げし、62年8月に現在の「日本バルブ工業会」へ名称を変更。着実に進めてきた活動が認められ、79年7月に社団法人化された。2013年4月、現在は正会員116社、賛助会員71社で構成されている。

と、22年度のバルブの生産額は21年度比3%増の5679億円となった。輸出額は前年度比10%増の6669億円、輸入額は同24%増の3560億円となった。原材料高騰などに伴う、製品の値上げが生産額上昇に影響していることが考えられるものの、2年連続で過去最高の生産額を記録した。

脱炭素加速
 委員会、部会、支部活動を積極的に進め、業界界に

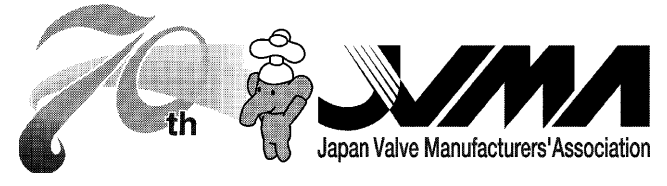
きょう 記念祝賀会

おける50年のカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)の取り組み加速に合わせ、会員企業経営層で構成する「脱炭素化委員会」を23年に設置。環境委員会では23年2月に欧州の化学物質規制(PPAS)を規制する提案が発表されたを受け、「化学物質対策専門チーム」を発足した。

環境委員会では「環境配慮バルブ登録制度」を16年に開始した。品質や性能だけでなく、環境面でも優れた製品づくりを取り組んだ会員企業製品を登録する独自の環境ラベル制度。登録は会員の自己宣言に基づき、5月末時点で10社31製品が登録されている。グリーン調達に気を配るユーザーにアピールする。

バルブ女史
 17年に発足した「バルブ女史ネットワーク」は、人材育成の取り組みの一環。「女性の感性とモチベーション」でバルブ業界の発展に貢献しよう」をスローガンに女性のさらなる活躍や女性が働きやすい環境づくりを進めている。24年からは若い世代にバルブの認知度を高めるため、インスタグラムから通年応募で「バルブフォトコンテスト」を開始した。バルブへの関心を高め、バルブ産業の地位向上に向けたさまざまな取り組みを進めている。

「脱炭素化委員会」を23年に設置。環境委員会では23年2月に欧州の化学物質規制(PPAS)を規制する提案が発表されたを受け、「化学物質対策専門チーム」を発足した。



つながる・つなげる 高温高圧バルブ

TVE 株式会社 TVE
 Challenge for the NEXT

本社 〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
 TEL:06-6416-1184 FAX:06-6416-1305

▶ 各種バルブの製造販売及びメンテナンス、各種鋳鋼製品の製造販売

■ これまでの100年から次の100年へ
 この100年、TVEは高温・高圧をキーワードにお客様ニーズを満たすバルブを供給し続けてきました。
 次の100年も世界トップクラスのバルブ技術開発力で、水素やアンモニア発電、次世代原子力などの新設計のバルブ開発をおこない続けます。

<https://www.tovalve.co.jp/>

KANE

To contribute to customer satisfaction and preserve the global environment, we are developing with the target of expected reliability and world-class creativity and innovation.

What next is coming?
 The results of well-known local projects overseas & domestically prove the KANE brand's reliability.

世界初の水道事業用配水圧力自動調整弁
 日本発の水通用水圧式逆流防止パイプニア製品
 世界初の逆流防止器専用デジタル式差圧計測ユニット
 世界初の50MPa対応排出口水撃解除装置
 世界初のウェハー接続式直動型圧力調整弁
 世界初のNC自動インシュレーターチューブ切断機
 世界初の自然水対応夾雑物排出型ボールタップ
 世界初の清掃時フィルタ脱着不要ストレーナ

KKK 兼工業株式会社
 本社/工場 愛知県小牧市大塚2036 〒485-0802 営業所/支社 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡/台北・新加坡
 URL <https://www.kanevalve.co.jp/> <https://www.kanevalve.com/> TEL +81-568-79-2476(Main)

試作～量産・調達・素材開発支援



KITAMURA FAUCET

鍛造
鋳造

切削加工

調達
アッセンブリ

株式会社キタムラフォーセット | kitamura-faucet.co.jp
〒501-3217 岐阜県関市下知字池の上5523-3 TEL: (0575)23-7820

一般社団法人日本バルブ工業会
創立70周年 おめでとうございます!

温調トラップTB-SRシリーズ 第49回 発明大賞 日本発明振興協会会長賞 受賞



蒸気の未来をつなぐ会社。
株式会社 ミヤワキ

Webサイトはこちら →

本社・工場：大阪市淀川区田川北2-1-30

日本バルブ工業会 創立70周年 おめでとうございます

SILENT KANEKO KEEPER BREATHER

FLAME ARRESTER APOSA

Go to new era

100年の信頼を新時代へ
金子産業株式会社
http://www.kaneko.co.jp

本社 〒108-0014 東京都港区芝5丁目10番6号 ☎03(3455)1411(代)
福山営業所 〒721-0973 広島県福山市南蔵王町2丁目24番25号 ☎084(923)5877
平塚工場 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5丁目3番9号 ☎0463(23)1511(代)

みんなて語るう!! バルブの魅力

キタムラフォーセット

代表取締役社長 **北村 徳宏**

日本バルブ工業会の創立70周年に心よりお喜び申し上げます。キタムラフォーセットは低圧金型鋳造により銅合金製の高品質な水栓をOEM(相手先ブランド)で生産し、ライフラインの安定・維持を支えてきました。また、部品メーカーとして他の鋳造法や機械加工、表面処理、組み立てなども手がけ、香港子会社で材料・部品調達の多様化も後押しし、お客様の多様な要望に一貫体制で対応しています。銅合金では鉛レス、低カドミウムなど環境負荷の少ない材料の鋳物も生産し、試作を通じ銅合金の新素材開発にも貢献しています。今後は海外展開も課題です。新たな取り組みを通じ、今後もバルブ業界と産業界の発展に貢献してまいります。

フジキン

国内営業本部 副本部長 **上野 邦彦**

このたびは日本バルブ工業会の創立70周年、心よりお祝い申し上げます。日本バルブ工業会の工業用分科会にも参加しており、いつも大変お世話になっております。私はバルブメーカーで製品の販売を通じて、さまざまな産業のモノづくりに携わってきました。モノづくりをする上で「ながれ」があるところには必ずバルブがあります。目立たぬ存在ではありますが、バルブは常に新しい技術や性能が求められながら進化してきました。昨今は新エネルギーである水素分野のニーズなど、カーボンニュートラルの領域で地球環境改善の一翼を担い、あらためてバルブが社会に欠かせない存在であると強く感じています。

オーエヌ工業

OEM営業課 課長 **寺坂 公宏**

日本バルブ工業会創立70周年おめでとうございます。オーエヌ工業はバルブを含めたステンレス配管機材の専門メーカーとして鋳造から完成に至るまでの生産を行っています。私の所属しているOEM営業課ではステンレス鋳造の実績を生かし、バルブ業界で活躍するメーカーとの取引も増えてきました。一口にバルブといっても、流体条件や使用環境により多種多様な製品があり、メーカーごとに大きな特徴があることを、恥ずかしながらも今でも勉強の日々です。過酷な状況で使用されるバルブにとって、ステンレス鋳物は生命線です。今後もバルブ業界発展の一端を担えるよう精進していきますので、ご指導の程よろしくお祈りいたします。

キッツ

取締役 代表執行役社長 **河野 誠**

日本バルブ工業会創立70周年おめでとうございます。過日はキッツグループ主催の展示会「KITZ CONVENTION 2024」に来場いただき、ありがとうございました。キッツは流体制御技術と材料開発によって社会インフラの支えとなる企業を目指し、長期経営ビジョン「Beyond New Heights 2030『流れ』を変える」を掲げています。市場を取り巻く環境が変化するなかで、半導体や水素などの新産業を支える企業へ飛躍するために、さらなる高みに挑戦し続けていく準備と仕込みを行っています。これからも業界全体の発展に寄与できるよう努力を重ね、皆さまと一緒に未来を切り拓いていくことを心から楽しみにしています。

オーケーエム

マーケティング課 課長代理 **山中 達博**

工業会創立70周年おめでとうございます。私はバルブ業界に飛び込んで約4年ですが、バルブという工業製品は奥深く、驚く機会が数多くあります。バルブは満たすべき規格や順守すべき法令が厳密に決められています。一方で制御対象の流体は多種多様、変幻自在であり、各メーカーで不断の努力が続けられています。単純な構造でありながらも未解明な点が多く残されている。私がバルブに魅力を感じるポイントの一つです。また目立たないところで仕事を黙々とこなしているのも「推せる」点です。工場や商業施設、駐車場などでバルブを探すことが習慣になってきました。皆さまも、街中でいろいろなバルブに注目してもらえたらうれしいです。

西部電機

産業機械事業部 営業部 特販課 **迎 俊平**

日本バルブ工業会創立70周年おめでとうございます。西部電機は暮らしに欠かせない水、電気、ガス、石油などのエネルギーを暮らしに導く流体制御の要としてバルブの駆動装置を提供しています。私は近年頻発する自然災害への防災・減災対策にニーズのある設備の自動化・省力化を実現するICT採用のシステムなどを提案しています。スマートフォンからリモート操作・監視を行うことができる「S³CON (Seibu Smart System Valcon)」や、停電時にバッテリー対応できる「SBS (Seibu Backup System)」などが好評です。これからもお客様と日本バルブ工業会の発展に貢献できるよう精進していきます。

ミヤワキ

代表取締役 **宮脇 健輔**

日本バルブ工業会の創立70周年を心よりお祝い申し上げます。環境配慮バルブ登録制度の開始など国内外での多岐にわたる活動は、バルブ産業の進化に大きく貢献されてきたと深く感銘を受けています。バルブの魅力は、多岐にわたる業界で必要不可欠な製品と位置付けられるという点です。社会全体に与える影響も大きく、各企業の取り組みによりサステナブルな社会の実現に貢献できると感じています。ミヤワキとしても新たな挑戦を続けており、「温調トラップTB-SRシリーズ」が発明大賞を受賞するなど、省エネルギーに貢献できる製品開発に尽力しています。今後も日本バルブ工業会とともに良い未来を築けるよう努めていきます。

オンダ製作所

営業統括部 営業開発部 直需開発グループ **新海 良真**

日本バルブ工業会創立70周年おめでとうございます。オンダ製作所はバルブをはじめとした配管資材の総合メーカーで、材料から製品まで一貫生産しています。直需開発グループでは機器メーカーのニーズを当社の技術と融合することで製品を具体化しています。さまざまな場所で製品を目にすることができ、社会貢献ができていると感じます。流体制御に使用するバルブですが、それだけにとどまらず、人と人をつなげるものでもあると考えます。当社だからできること、こだわりを持ち続け、製品を提供することで、豊かな暮らしへ貢献できるようまい進していきます。今後ともご指導、ご鞭撻(べんたつ)の程、よろしくお祈りいたします。

T V E

代表取締役社長 **奥井 一史**

日本バルブ工業会創立70周年おめでとうございます。バルブにはいろいろな大きさ、形状、機能があり、生活の基盤を支えるさまざまな設備に用いられています。青銅製のボールタップなどを主力に、一貫生産で適切な品質と機能を提供しています。バルブは生活に不可欠な水の供給を支えています。製品の安全性は人の命を守ることにもつながります。しかし認知度は低く、次世代を担う学生には広く知られていないのが現状です。80周年を視野に、若手経営者の一人としてバルブが果たす役割を広めたいと考えています。また業界で鋳造が減少する中、培った鋳造技術を絶やさないことも当社の役割と捉えます。今後も飲料水から雨水、海水、農業用などに適用した自動弁メーカーとして挑戦していきます。

兼工業

代表取締役社長 **落合 佑亮**

日本バルブ工業会創立70周年、おめでとうございます。兼工業は飲料水に特化した自動弁メーカーとして鋳造技術を生かしたモノづくりに注力しています。青銅製のボールタップなどを主力に、一貫生産で適切な品質と機能を提供しています。バルブは生活に不可欠な水の供給を支えています。製品の安全性は人の命を守ることにもつながります。しかし認知度は低く、次世代を担う学生には広く知られていないのが現状です。80周年を視野に、若手経営者の一人としてバルブが果たす役割を広めたいと考えています。また業界で鋳造が減少する中、培った鋳造技術を絶やさないことも当社の役割と捉えます。今後も飲料水から雨水、海水、農業用などに適用した自動弁メーカーとして挑戦していきます。



「いい流れをつくる。」

OKM

株式会社オーケーエム 本社：滋賀県野洲市三宅446-1
https://www.okm-net.jp/

防災・減災対策 設備の自動化・省力化システムのご提案

S³con & SBS+S

70th ANNIVERSARY SINCE 1954



クラウドサーバー ← 4G, 5G, Wi-Fi → スマホ

カメラ画像と駆動装置情報

S³con*1 (S CUBE CON)

SBS+S*2

Semflex-VM バルブ駆動装置

通信と電源供給

Semflex-WD ゲート駆動装置

*1 S³con: Seibu Smart System Valcon, Monpicon (リモート操作・監視)
*2 SBS+S: Seibu Backup System + Solar (バッテリーバックアップ+ソーラー)

ガラスやボトル 洗浄の手間を省く



PrePashu+

予洗い水栓「プレパッシュ+」
品番: Y49

SANEI 株式会社 www.sanei.ltd
本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
TEL(06)6972-6981 FAX(06)6972-5929

KITZ

見えるところも見えないところも
キッツはバルブで支えます。

国内営業本部 東京支社 / TEL(03)5568-9220 FAX(03)5568-9225
本社 〒105-7305 東京都港区東新橋1丁目9-1
東京汐留ビルディング
営業網 / 札幌・仙台・さいたま・東京・千葉・横浜・茅野
新潟・富山・静岡・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡

https://www.kitz.co.jp

西部電機株式会社

産業機械事業部 〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 (092)941-1507 FAX (092)941-1517

https://www.seibudenki.co.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS